

「平成30年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第2回）」
議事概要

I 日 時

平成30年10月2日（火）13：30～15：25

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

（1）審議事項案件

① 平成30年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

III：低落札率案件の予定価格設定等

（2）その他

V 議事内容

（1）① 平成30年4月から6月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について

I：随意契約等における価格交渉状況

II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

Ⅲ：低落札率案件の予定価格設定等

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 業者を経由して間接的に受けるサービスについては、メリット・デメリットを十分に検討すること。また、このようなケースで総合評価落札方式による調達を実施する際は、適正な評価がされるよう、評価基準の見直しも検討すること。</p> <p>② 1者応札になった理由を表層的（ex.公告日から説明会までの時間が短かった。年度末に近い調達で要員を確保できなかった。）に捉えず、何故そのような状況に至ったのかといった真因を究明した上で具体的な再発防止策を検討すること。</p> <p>③ 前回受注者と新規参入者との間に情報の非対称性を発生させないように情報提供に工夫をして、競争原理が働くようにすること。</p> <p>④ 定期的な調達において落札率 100%が連続する案件については、予定価格の漏洩等、不正な行為が行われていないことを確認すること。</p> <p>⑤ 仕様書はオーバースペックにならないように作成することはもとより、内容を分かりやすく記述することで、誤解を発生させないように留意すること。</p> <p>⑥ 総額を記載する際は、単価 × 数量に分解することで、どの要素が価格変動に影響しているかを明確に示すとともに、項目毎の変動要因についても併せて記載すること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいりたい。</p>

(2) その他

平成30年10月～平成31年1月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上